

「Back to basics : 私の診断と治療」

茨城県水戸市 いいじま矯正歯科 飯島 重樹

私は 1930 年代の Edgewise 装置の考案から 80 年近い時間に試されて現在に至っている Tweed-Merrifield 法に基づいた診断と治療を行っている。

鑑別診断は、“Faces first” のコンセプトでセファログラムと模型を詳細に検討し、歯列の三次元的な位置づけと限界を考慮している。

装置はトルク・アンギュレーションが付与されていない .022 inch standard edgewise bracket を sequential bonding する。併せて、個々のアーチフォームに応じてバンドしたレクトアンギュラーワイヤーと J-hook headgear を治療初期から用いる。

必要に応じてアンカレッジプレパレーションを行い、顔貌の調和、歯列の安定を常に配慮しながら治療を行い、良好な結果を得ている。

私達は基本に立ち戻って患者さんの治療にあたるべきではないだろうか？

【略歴】

飯島 重樹 (いいじま・しげき)

- 1988 年 日本歯科大学新潟歯学部卒業
- 1988 年 日本歯科大学新潟歯学部矯正学講座 (～ 1995 年)
- 1994 年 The Tweed Study Course
- 1996 年 東京都内の矯正歯科専門医勤務
- 1998 年 いいじま矯正歯科開設 (茨城県水戸市)
- 2006 年 日本矯正歯科学会専門医 (第 146 号)
- 2006 年 C.H. Tweed International Foundation Membership
- 2007 年 日本歯科大学非常勤講師 (～ 2016 年)